

コンテンポラリー・デュオ

村田 厚生 & 中村 和枝 vol.8

トロンボーン：村田 厚生
ピアノ：中村 和枝

プログラム（曲順未定）

坂東 祐大 / Magaru [Warped sound objects] (2012)
Yûta Bandoh / Magaru [Warped sound objects]

篠原 眞 / 「トロンボーンとピアノのための二重奏」(2017)
Makoto Shinohara / Duo for trombone and piano

山本 哲也 / 「オルガンの聲3」～トロンボーンとピアノのための(2021)
Tetsuya Yamamoto / voix de l'orgue 3 for trombone and piano

中村 匡寿 / 「距離に揺らぐ鼓動の幻影」～トロンボーンとピアノのための（委嘱初演）
Tadahisa Nakamura / [The Phantom Pulse Modulates with Distance] for Trombone and Piano

小倉 美春 / 「境界」～トロンボーンとピアノのための（委嘱初演）
Miharu Ogura / Seuil pour trombone et piano

2025年3月6日(木) 19:15開演(開場18:45)

ムジカーザ(代々木上原)

予約 ¥3,000 / 当日 ¥3,500 / 学生 ¥2,000
※ 受付にて当日清算お願いいたします。(18歳未満入場無料)

問い合わせ：20250306@sonata.jp

ご予約フォームはこちら→





■ コンテンポラリー・デュオ 村田厚生 & 中村和枝 ■

トロンボーンとピアノのための現代作品演奏ユニット。

「特異な音楽作品として成立し、同時に普遍的なレパートリーたりうる作品を発表したい」という強い意図を持って企画を行っている。委嘱にあたっては、積極的に他作品の演奏に関わり、音源やライブ演奏を聴くなど、作曲家のアイデアや先進性を深く理解することに努めている。また委嘱作品を貴重なレパートリーとして定着させるため必ず再演の機会を設けている。2013年にCD「Slide Paranoia」をリリース。2017年5月にスイス・ドイツ5都市（バーゼル、マンハイム、ケルン、シュライヤーン、ベルリン）でリサイタルを行った。

村田 厚生 (Kousei Murata) トロンボーン

桐朋学園大学音楽学部卒業。ドイツ学術交流会 (DAAD) 給費留学生としてベルリン芸術大学卒業。現代トロンボーン音楽のスペシャリストとして様々な前衛作品を初演。サントリーサマーフェスティバル他内外の現代音楽祭に出演。モーション・センサーを使用した電子音響ライブ、グローバル作品をテーマとしたシリーズ・リサイタルを展開中。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。ウェブサイト: www.sonata.jp

中村 和枝 (Kazue Nakamura) ピアノ

武蔵野音楽大学卒業。JML入野義朗音楽研究所にて研鑽を積む。第3回日本現代音楽ピアノコンクール、第3回スペイン・シッチェス20世紀音楽コンクール、共に優勝。国内外の多くの現代音楽演奏会で演奏・録音を行っている。2002年に作曲家・山本裕之と共に現代音楽ユニット“claviarea”を結成。CD《to you from...》《松平頼暁・24のエッセイズ》をリリース。尚美学園、JML入野義朗音楽研究所講師。ピアノのアトリエ主宰。

■ 委嘱作曲家 ■

小倉 美春 (Miharu Ogura)

ドイツ・フランクフルトを拠点とするピアニスト・作曲家。

メシアン国際ピアノコンクール、オルレアン国際ピアノコンクールなど、ピアノと作曲の両方で入賞多数。

ラジオ・フランス及びヴェネツィア・ビエンナーレなど、国内外より委嘱を受ける。

作品はTrio Estatico、Zöllner-Roche Duo、フランチェスコ・トリスターノ、ヨナーヌ・オルソン、フィリップ・ゴリーニなどに演奏されている。Thanatosis Produktionより自作自演を収録したアルバム“Ogura Plays Ogura”をリリース。2024年より伊出版社SZ sugarと契約。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。桐朋学園大学研究科作曲専攻修了。フランクフルト音楽・舞台芸術大学修士課程を経て、同大学国家演奏家資格課程修了。ピアノを廻由美子、フローリアン・ヘルシャー、作曲を石島正博の各氏に師事。



中村 匡寿 (Tadahisa Nakamura)

1986年東京都生まれ。桐朋学園大学作曲科研究生修了。第86回日本音楽コンクール作曲部門第3位、第9回日本作曲家協議会(JFC)作曲賞、第36回現音作曲新人賞入選、21世紀の吹奏楽第21回『響宴』選出、その他受賞多数。

作品は室内楽からオーケストラ、吹奏楽と多岐に渡り、取り分け近年は日本の伝統楽器を扱った精力的な創作が注目されている。これまでに多くの個人や団体から作品が委嘱、初演され、作品の一部は音楽之友社、ブレーン出版、CAFUALレコード、ウインズスコア等から出版されている。

ウィーン国立音楽大学でクラリネットのディプロマを取得。これまでにクラリネットと室内楽を木村健雄、故 浜中浩一、Kurt Schmid の各氏に、作曲を鈴木輝昭氏に師事。

